

広報ひがしの

No156
2018.8.1

人口1712人
(男) 840人
(女) 872人
世帯数
632世帯
(H30.7.1現在)

大盛況だった第18回東野ほたる祭り



小学生による開会セレモニー



開催が心配されたほたる祭りでしたが、前日までの雨天から一転し、さわやかな空気の中、東野小学校の皆さんのが進行で、ほたる祭りの開会式が行われました。

地元児童による司会は、とても好評でした。



大活躍してくれた中学生ボランティア



宵闇のほたる祭り

6月16日（土）宗久寺駐車場にて第18回「東野ほたる祭り」が開催されました。

前日まで雨天が続き、開催が危ぶまれましたが、昼近くになると、雲の合間から日差しが差し込み、午後からは好天に恵まれ、無事開催できました。前日までのぐずついた天候のため、来場者の人数が気になるところでした。しかし、子ども達はほたる祭りを楽しみにしていた様子で、小中学生を中心に450名余りの皆さんに来場いただきました。用意した150枚の壁掛けもほとんどなくなり、大盛況のうちに終わることができました。この日は少し涼しかったにもかかわらず、草むらではたるが光るのが見られました。午後9時を過ぎる頃には定蓮寺の川面をほたるが飛び交うのも見られました。

ほたる祭りの前日までに、東雲会の皆様が東野地内4ヶ所にほたる祭りの開催を知らせる大看板を設置して下さいました。�行灯やほたる作品を制作してくれた東野小学校、東野こども園の皆さん、当日の車の誘導や来場者の案内をしていただいた交通安全協会の皆さん、様々な物資を販売していただいた東野開発振興会や東雲会、自治会青少年育成推進員の皆さんなど多くの方々のサポートをいただきましたこと、誠にありがとうございました。

東野の力が一つになったことを実感させるほたる祭りでした。



今年もとても好評だった木の壁掛け作りを彩ってくれたゴム版を、小学校6年生の皆さんのが、制作してくれました。ほたるクイズに答えた子ども達は、丁寧にスタンプを押し、世界に一つだけのすてきな壁掛けを家に持ち帰ることが出来ました。6年生の皆さん、ご指導いただいた吉村茂夫先生、ありがとうございました。

地域をつなぐほたる祭り



東野ほたる祭りに先がけてこども園の園児のほたる作品を展示しました。3歳児7名、4歳児5名、5歳児15名の楽しい作品ばかりです。6月8日には先生と一緒に自分たちの作品をコミュニティセンターに届けるために訪問してくれました。みんな自慢げに、にこにこして自分の作品を指差していました。園児の皆さん、ほたる祭りを盛り上げてくれてありがとうございました。

6月12日（火）に東野小学校の5年生がほたる祭り会場の雰囲気を盛り上げてくれた大行灯を作成し、コミュニティセンターまで届けてくれました。みんなでアイデアを出し合い、協力して作ったそうです。5年生の皆さん、大作を作ってくれてありがとうございました。

大行灯とこども園のほたる作品は6月25日までコミュニティセンターロビーに展示し、来館される方の目を楽しませてくれました。

東雲連合会



東雲会が5月中に設置し、6月17日には撤収してくださいました。東雲会は、おもちゃや販売をしていただき、ほぼ完売となりました。

中学生ボランティアが大活躍



東野在住の恵那東中学校生徒にほたる祭りボランティアを呼びかけたところ、12名の生徒が申し込んでくれました。水風船つりやホタル学習のコーナー、壁掛け作りコーナーで、来場者に応対してくれました。

ほたる祭りを支えていただいた皆さん

交通安全協会東野支部のみなさん

多くの来場者がほたる祭りを楽しんでいる頃、交通安全協会東野支部の7名の皆さんに、午後6時30分から8時30分までコミュニティセンター前、東野駅、宗久寺入口等に立ち、車の誘導、道案内や入り口に進入する車両を止めるなどの仕事をしていただきました。多くのみなさんが安心して楽しめたのも交通安全協会のみな様のお力が大きかったと思います。



東野青少年育成会議のみなさん

今年は、下組代表の青少年育成推進員12名と運営委員20名に本部、ほたる学習、木の壁掛け作成コーナー、水風船つり、駄菓子販売コーナーに分かれ運営や分担された仕事をしていただきました。どのコーナーにも多くの小中学生が押し寄せ大盛況でした。



あのときのほたる祭り

今年で18回を数える東野ほたる祭りでした。東野ほたる祭りの開始当方が分かる公民館だよりがあります。当時の公民館だより（平成13年 No. 68）を紹介します。当時の熱い思いが伝わってきます。

◆（平成13年）6月23日、東野史上初めてのほたる祭りは、梅雨時の心配を一蹴する事業となりました。8時を過ぎると東野駅前広場には「続々と」子どもたちが参集してきました。（700名余が集まったと書いています。）あれだけの人を東野の里に結集させた源泉は何であったのでしょうか。ある人は、あの立て看板（振興会・東雲会・青少年育成会議の連携事業の産物）だ。ある人は手作りのチラシのせいだ。またある人は新聞に掲載されたからだ。環境問題と合致させて、タイミングのよい計画だったからだ。そういう様々な要素がかみあって、700人と思える人たちが、定蓮寺川へ引き寄せられました。（以下略）

今年のほたる祭り

みんなが楽しみにしていたほたる祭り。雨が降らないよう願って、私もてるてるぼうずを作り、ぶら下げた。そしたら、花がさいたかのように、いっしゅんに晴れだ。うれしかった。「これでみんなも楽しくほたる祭りができる」と思った。そのてるてるぼうずは、ほたる祭りを待っているみんなの願いがこめられたてるてるぼうずだった。本当に晴れてよかったです。（東野小5年女子）

今年は天候に恵まれ、80名の東野地区の幼児、小学生がほたるクイズを解答してくれました。東野以外から40名、中津川市から10名、愛知県から10名の合計60名の子ども達も解答してくれました。保護者、中学生、地域の方々、関係者の総計450名以上の参加者があったほたる祭りでした。いつまでも多くのお客様で賑わうほたる祭りであってほしいと願っています。

社会福祉協議会東野支部サロン・食事サービス事業

1. 食事サービス事業

○ アヤメ会

・対象者と事業内容

65歳以上でひとり暮らしの方が、コミュニティセンターに集まり、ボランティアの方と料理を作り食事することで、生活に変化をもち、悩みや苦労を話しながら同じ状況の方と連帯感をもっていただく。

- ・開催日：毎月第1金曜日（東野コミュニティセンター）
- ・個人負担：100円

○ ふれあい弁当

・事業内容と目的

食生活で栄養が偏りがちな世帯に、ボランティア「結の会」^{ゆい}が季節のお弁当を作り、お届けすることでボランティアの方とふれあい、くらしに変化をもっていただく。

- ・開催日時：毎月第3金曜日12:00～12:30にお届け、又はコミュニティセンターで受取り

- ・個人負担：一食200円

- ・対象者 ①ひとり暮らしで65歳以上の方

- ②世帯全員が80歳以上の世帯

- ③65歳以上の人のみで認知症、障がい者、高齢者等の介護をする世帯



2. ふれあいカフェ推進事業

○ ふれあいキッサ虹

・事業内容と目的

月2回、コミュニティセンターのロビーでコーヒーとお菓子を提供して、地域の方が気軽に集まって交流やおしゃべりができる機会を提供する。

- ・開催日時：毎月第2木曜日、第4金曜日 10時30分～12時30分

- ・個人負担：1回100円



3. ふれあいいきいきサロン事業

○ 福寿会

・対象者と事業内容

毎月1回、白坂集会所に集まり、料理作り、健康体操、勉強会等を行い、親睦を深めて生きがいを見つける。

- ・個人負担：500円程度
- ・対象者：白坂在住で65歳以上の方

○ あすなろ会

・対象者と事業内容

毎月1～2回、コミュニティセンターで切り絵やパッチワーク等の作品を作り楽しむ、生きがいをもって生活する。

- ・対象者：東野身体障害者婦人部（希望者）

平成30年度 ふれあい食事サービス・ふれあいキッサ日程表

月	アヤメ会		ふれあい弁当	ふれあいキッサ虹	
	毎月第1金曜日(送迎有)	毎月第3金曜日	毎月第2木曜日・第4金曜日		
東野コミュニティセンター 調理室 10時~			東野コミュニティセンター ロビー 10時半~12時半		
8月 3日(金) 血圧測定 健康相談	夏場はお休みします			24日(金)	
9月 7日(金) 血圧測定 健康相談	21日(金)			28日(金)	
10月～2月は改修工事を行います。					
3月 1日(金) 血圧測定 健康相談	15日(金)	14日(木)	22日(金)		

[アヤメ会]

- * 開催の日には、ご自宅 ⇄ 東野コミュニティセンター送迎を行いますので、ご利用ください。
- * 血圧測定、健康相談には、健康手帳を持ってきてください。
- * 参加費100円

[ふれあい弁当]

- * 上記の日程が変更になる場合は事前にご連絡します。
- * お届け時間 12時～12時30分
- * 自己負担額 一食200円
- * ボランティアの方が調理をし、希望者宅までお届けします。

[ふれあいキッサ虹]

- * 第2木曜日・第4金曜日 10時30分～12時30分
- * コーヒーとお菓子でふれあいの場を提供 誰でも参加可
- * 参加費100円

◎会員さん募集中

アヤメ会…ひとり暮らし高齢の方
いつからでも参加できます。

詳しくは下記まで連絡ください。

問い合わせ先

恵那市社会福祉協議会



東野支部（東野振興事務所内）

電話26-2244

文芸作品を募集しています

東野には豊かな自然が残り、先人からの伝統が脈々と引き継がれてきた、文化の香りのする町です。

そんな風土にお住まいの東野みなさんを対象に、俳句や短歌、川柳を広く募集します。応募期間は設けません。いい作品ができたら、E-mailかFAXでコミュニティセンターまで、お寄せ下さい。直接届けて頂いてもかまいません。よい作品は広報に掲載させていただきます。

- ・作品とともに、氏名、自治会名、学校名、学年（学生の場合）をご記入下さい。匿名のものは掲載できませんのでご了解ください。
- ・送付いただいた作品すべては掲載できませんのでご承知下さい。作品の選考は、コミュニティセンター職員が行います。

送付先：東野コミュニティセンター

Tel 26-2555 FAX 26-0126

E-mail:higashino-c@city.ena.lg.jp



花無山句会 平成三十年六月二十八日

一日の事など話し 蛍待つ	露草の 紫冴える 雨宿り	螢火を 追いし思ひ出 里遠し	車椅子 押されて無力 麦の秋
千藤 恵三	千藤 猛司	松本はるか	内木伊都子
		市川 芳子	

文
芸

平成30年度前期恵那市民大学『恵那三学塾』市民講座 紹介

恵那市は、「学ぶことは幸せなり」と、少年期、壮年期、老年期と生涯学び続けることの大切さを説いた郷土の先人、佐藤一斎先生の「三学の精神」を理念として、市民みんなで取り組む生涯学習「市民三学運動」を実践しています。生涯学習には「自分づくり」と「地域づくり」の2つの目的があります。学んでは生かし、生かしては学ぶ「知の循環」を目指すのが恵那三学塾です。この中の一つが市民講座です。東野では9つの前期市民講座が開かれています。

恵那の家庭料理を作る

講師 伊藤 真理

料理を楽しみながら、地域の食文化や栄養と健康などについて学んでいます。若い方、男性、お子様連れも大歓迎です。今年は少ない人数ですが和気あいあいと料理を作っています。



赤尾先生の楽しいウォーキング&トーキング

講師 赤尾 袋夫

健康作りは笑いと運動から。皆さんと一緒にお話ししながら軽やかウォーキング。明知鉄道沿線や阿木川ダムなどを散策しています。



リズム体操

講師 置名 愛

どなたでも簡単に行える体操です。音楽に合わせいろいろな足踏みをしたり手を動かしたりします。しっかり汗をかくこともありますのでタオルは必携です。体力に自信のない方も休みながら参加できます。



いきいき健康体操

講師 置名 愛

いつまでも若々しくいるため、そして今の健康を維持していくための体操を行います。椅子に腰掛けたまま、身体をほぐしたり、筋力強化、柔軟性向上や頭の体操をしたりしながら楽しく行っています。



楽しい親子ヨガ

講師 横光 亜由美

おさんと一緒にヨガのポーズをして骨盤と全身を調整し、脳内ワークを行います。乳児から小さいおさんまで、和室で安全にお母さんと一緒にになって楽しく参加しています。



さあ うたいいましょう

講師 林 精子

いきいきと大きな声で歌います。童謡からフォークソングまでおなかの底から声を出して歌います。男性も大きな口を開けて、楽しく歌っています。講座が終わった後は、皆さん笑顔いっぱいです。



樂々囲碁

講師 西尾 宏見

初心者から有段者まで大歓迎です。囲碁への興味を誘いながら技も楽しめる囲碁講座です。受講生は静けさの中、集中して取り組んでいます。数手先を読みながら最善手を考えて対局しています。



日本刀を学ぶ

講師 東濃日本刀愛好会の皆さん

日本刀の見方、礼儀作法など、日本刀を通して歴史を学んでいます。初心者の方や女性の方も大歓迎です。真剣を実際手に持ち、日本刀の美しさや歴史を実感しています。



東野ネイチャークラブ

講師 赤尾 友和

赤尾先生と一緒に自然の中へ出かけます。自然の中で見つけたものでクラフトを作ります。

第一回目は阿木川ダム方面に出掛けて採ってきた植物を使い苔玉作りをしました。



今回は東野コミュニティセンターで開講されている市民講座を紹介しました。前回の広報ひがしでお知らせしたように、コミュニティセンターの大規模改修のため、一部の市民講座のみ3月に開講します。詳細については、恵那市民大学ガイドブック2018後期をご覧下さい。2019年市民講座では、内容を吟味し広く募集しますので、ぜひ受講して下さい。

地域の話題

東野小学校で田植え

5月21日（月）に東野小学校4・5年生の31名が学校田で田植えを行いました。丸山文憲東野開発振興会会长を地域の講師に迎え、田植えの仕方の説明を受けました。田植えをした経験が少ない児童ばかりで、おつかなびつくり田んぼに入り、「うわ～泥がヌルヌルする～」「冷たーい。」と大騒ぎでした。

「まっすぐ立つように植えられてるかな？」と1本1本丁寧に苗を植えていきました。たくさんの方々に準備していただきご飯が食べられることに感謝したい。」という感想を話す児童もいました。実りの秋となりそうです。



ふれあいキッサ虹

「ふれあいキッサ虹」は毎回多くの皆様が来館され、大盛況です。おいしいコーヒーを飲みながらお友達と談笑したり近況報告をしたりする方も多くいらっしゃいます。5月10日（木）は長島町在住の丸山咲子さんが満員のお客様に津軽三味線を演奏していただきました。ホールに響き渡る津軽三味線の力強い音が多くのお客様が耳を傾け、一曲終わるたびに大きな拍手をしていました。



8・9・10月の予定

- 8月 1日（水）・8日（水）東野青少年育成会議
市内安全パトロール（恵那駅からピアゴ）
- 3日（金）・10日（金）東野青少年育成会議
東野地内安全パトロール（川や危険箇所）
- 8日（水）夏休みこども教室（銅版画と紙工作）午後
- 9日（木）夏休みこども教室（学習）午後
- 15日（火）16日（水）夏休みこども教室 午前
- 11日（土）第37回納涼夏祭り
- 12日（日）地域環境美化活動
- 22日（水）青少年育成会議主催 夏休み社会見学

*夏休み子ども教室 午前10:00～13:00 午後13:00～15:00

- 9月 1日（土）秋の道つくり作業（自治会毎）
- 2日（日）市防災訓練（地域毎）
- 上旬 自治会長会議
- 17日（月）敬老会
- 23日（日）みのじのみのりまつり
(ふるさとじまん) 出店
- 10月 21日（日）東野住民ふれあい体育祭
- 28日（日）歌舞伎公演

乳幼児学級 すくすくクラブ



乳幼児学級のすくすくクラブでは5月には書道を、6月には救命救急について親子で勉強しました。書道では自由に筆を動かして立派な作品を書き上げました。救命救急では、恵那市の女性消防隊のみなさんから身近な事故を防ぐ方法や、応急処置などを教えていただきました。学級生もひと組増え、みんなと学ぶ中で親子の交流も深める活動になつたと思います。8月には水遊び、9月には明知鉄道を使っての岩村散策を予定しています！

乳幼児学級（すくすくクラブ）とは

『乳幼児期の家庭教育学級』のことです。0～3歳までの子どもをもつご家族の活動です。途中からの参加も可能ですので、ぜひコミニティセンターへご連絡ください！（乳幼児学級担当 林）

施設使用について

「ミニユースセンター」の施設使用について

かねてよりお知らせしていますとおり、今年十月から来年二月まで大規模改修を行うため、この期間コミュニケーションセンターの施設使用ができなくなります。大変ご迷惑ご不便をおかけしますがご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

市民講座について

後期の市民講座は規模を縮小し、来年三月のみ開講予定です（野外開催講座を除く）。子どもからお年よりまで学ぶことができる新しいものを予定しておりますのでぜひご参加ください！詳しく述べ九月に発行される『恵那市民大学ガイドブック』をご参照ください（後期から各家庭へ配布されなくなります。市役所、文化センター、各ミニユースセンターなど配布されます）

図書利用について

恵那市中央図書より三ヶ月に一度数十冊の本を東野ミニユースセンターへ貸していただいておりますが、改修工事期間中はありませんので承ります。再開は工事終了後、三月以降を予定しております。

発行

東野地域自治区運営委員会 8二一六一一五五五
東野ミニユースセンター 8二一六一一二四四

編集後記

月の由来は葉が黄色く色づく頃だから「はづき」、または落葉が始まるから「葉落ち月」を縮めて「葉月」になつたという説や稻穂が実る時期であるから「ほはり（穂張穂発）づき」とか、南から「南風（はえ）」をもたらす台風が多く来ることから「南風月（はえづき）」がもとになつたという説もあります。由来は不明ですが、いずれにしても8月は集中豪雨や台風の被害が懸念されます。特に近年の異常気象で「過去に経験したことのない大雨」「100年に一度の大雨」という報道を聞くこともあります。防災の観点からは、「まさかそこまで被害はないだろう」という考え方から「最悪を想定」することが重要です。常に防災を意識することは難しいですが、自分の命は自分で守ることを最優先に、今水害が起きたらどうするか、今大地震が起きたらどうするかとイメージする力が求められていると思います。（杉）

平成30年度

東野文化祭の日程について

今年度はコミュニケーションセンターの大規模改修に伴い、次のような変則的な日程で行います。ご承知下さい。

10月 28日（日）歌舞伎公演

11月 4日（日）バザー・即売
音楽祭

2月中旬～下旬の土曜日か日曜日

・大規模改修記念式典

記念式典後の土曜と日曜両日

・地域文化団体の作品展示

・館内披露